

平成 25 年(2013)9 月 6 日～9 月 30 日

平成 25 年

雲南市議会 9 月定例会
一般質問通告一覧表

平成 25 年雲南市議会 9 月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	議席番号／氏名	質問方式	ページ	順番	議員番号／氏名	質問方式	ページ
1	2 / 中村 辰眞	一問一答	1, 2	10	17 / 堀江 眞	一問一答	12, 13
2	19 / 堀江 治之	一問一答	2, 3	11	16 / 山崎 正幸	一問一答	13～15
3	7 / 細木 照子	一括	3, 4	12	6 / 多賀 三雄	一問一答	15, 16
4	21 / 藤原 信宏	一問一答	4～6	13	15 / 細田 実	一問一答	16, 17
5	4 / 矢壁 正弘	一括	6, 7	14	8 / 佐藤 隆司	一問一答	17, 18
6	3 / 原 祐二	一問一答	7～9	15	9 / 周藤 正志	一問一答	18, 19
7	1 / 松林 孝之	一問一答	9, 10	16	14 / 福島 光浩	一問一答	19～21
8	5 / 白築 俊幸	一問一答	10, 11		/		
9	11 / 西村 雄一郎	一括	11, 12				

平成25年雲南市議会9月定例会一般質問通告一覧表

平成25年9月4日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	2	中 村 辰 眞 (一問一答)	1. ハザードマップ 見直しと避難所について	(1)本年度当初予算に、災害対策総務管理事業566万円が計上され、ハザードマップ・ハンドブックの更新がされているが、現在の進捗状況を伺う。 (2)ハザードマップの見直しは、避難所の見直しとリンクしているかどうか伺う。 (3)ハザードマップには、浸水危険地域や土砂災害危険地域の中に避難所が記されている。現在市内において、浸水・土砂災害危険地域にある避難所・一時避難所は、避難所の総数に対して何か所あるか。 (4)避難所と一時避難所の違いは何か。 (5)建物自体の老朽化が激しく、暴風で飛んでしまいそうな不安のあるものや、トイレが無いなど、避難所としての機能に疑問がある建物に対して、改善の考えがあるか伺う。 (6)地域において災害の危険性がきわめて低い場所を選定して、避難所の整備をすべきと考えるが、見解を伺う。	
			2. 災害時の SNS(ソーシャルネットワークサービス) の活用について	(1)雲南市もフェイスブックの公式ページを開設されたが、この狙いは何か。 (2)多くの地方自治体が、公式ページとは別に防災に特化したページを開設しているが、雲南市の見解を伺う。 (3)災害時の情報発信、収集を瞬時に行うことができると考えるが、市の見解を伺う。	
			3. 小中学校の普通教室の冷房対応について	(1)この夏の、小中学校の普通教室の最高温度は何度か。またその温度は、学校環境安全基準に照らして適温かどうかを伺う。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 市営バスのステップの高さについて	<p>(2)市内小中学校の冷房機器設置状況と、特に普通教室に対する冷房機器設置の有無を伺う。</p> <p>(3)エアコン等の設置予定の有無を伺う。</p> <p>(4)エアコン等の冷房機器に比べて安価なミストシャワーに、温度を下げる効果が期待できると考えるが、見解を伺う。</p> <p>(5)ミストシャワーには可動式もあり、夏季の体育の授業や体育祭の時などに、子供たちの熱中症予防になるが、導入の考えはないか。</p> <p>(1)市民バス利用者の年齢割合を伺う。</p> <p>(2)全車両中、補助ステップ付の台数と乗車補助具（踏み台など）搭載台数は。</p> <p>(3)高齢者の中には、足を上げることがままならず、乗車が困難な方がいる。特に、病院に乗り入れる車両を低床バス化する考えはないか。</p> <p>(4)補助ステップの高さを少し下げて、高齢者が少しでも楽に乗り降りできるように工夫してはどうか。</p>	
2	19	堀江治之 (一問一答)	1. 災害時の情報伝達方法について	<p>(1)今年の夏は、全国各地でゲリラ的豪雨災害が頻発した。県下各地でも甚大な被害が発生したが、その中で7月28日豪雨の際、津和野町では停電のため、住民に対し十分な情報伝達が出来なかったとの報道がされたが、この件についての所感を伺う。</p> <p>(2)雲南省の災害時の情報伝達方法について</p> <p>①雲南省の現在の災害時情報伝達方法について伺う。</p> <p>②今後、現在の災害時情報伝達方法の変更があるのか伺う。</p> <p>③自治会未加入者への伝達方法はどのようにされているのか伺う。</p>	
			2. 公共施設の維持管理計画について	<p>(1)全国で高度成長期に多くの公共施設が建設され、その施設の耐用年数を迎え老朽化が進んでおり、その対応が求められている。雲南省の公共施設の更新・維持管理計画が策定されているのか伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. 市民の便利帳（仮称）の発行について</p> <p>4. 松江自動車道開通後の効果について</p>	<p>(2)他自治体では、老朽化する市有の公共施設の現状や課題を整理した「公共施設白書」を作成している。この中で、今後の公共施設の在り方を取りまとめた基本方針を策定のうえ、各施設毎の維持管理計画を検討される。「公共施設白書」の作成の考えはないのか伺う。</p> <p>(1)雲南市の組織体制・各種制度・届出・証明・手続き等行政サービスの案内を一冊にまとめた、市民の便利帳（仮称）の発行の考えはないのか伺う。</p> <p>(1)松江自動車道開通後、どのような効果があったのか伺う。 (2)松江自動車道開通後、マイナスとなった面があるとすれば何か、またその解決方針について伺う。 (3)今後、インター周辺の開発計画があるのか、あるとすればどのような計画か伺う。 ①雲南吉田インターチェンジ周辺 ②吉田掛合インターチェンジ周辺 ③三刀屋木次インターチェンジ周辺</p>	
3	7	細 木 照 子 (一 括)	<p>1. 鉄道の踏切改修の申し入れについて</p> <p>2. 消火栓の取り扱い主体はどこにあるか</p>	<p>(1)鉄道の踏切が老朽化しているところがあり、渡る時にガタツキが大きく、困るとの地域住民の声が多い。JR側へ改修の申し入れができないか。</p> <p>(1)火災時に消火栓が使われなかったケースがあると聞いた。使う必要が無い場合もあると思うが、消火栓を使用する判断はだれがするのか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. 若者にも魅力のある雲南農業に向け、農業の活性化について</p> <p>4. 特別養護老人ホームの入所基準変更による影響について</p> <p>5. 高齢者の万引き増加について</p>	<p>(1)市内で薬草等を栽培し、生薬生産へ向けて取り組む考えはないか。</p> <p>(1)厚生労働省は、2年後から特別養護老人ホームの入所者を「要介護3」からとする方針を固めた。これにより、さらに在宅介護が必要となり「24時間介護サービス」などは避けて通れなくなる。時を同じくして、日本郵便が、安否確認や買い物代行の高齢者支援サービスを段階的にはじめるとしている。このような状況を、市としてどのように考えているか。</p> <p>(1)県内の高齢者による万引き件数が、今年、過去5年間の最多を更新する勢いで推移している。法律に照らして罰を加えるだけでは真の解決にはならない。高齢者の万引きの増加は、高齢社会における社会問題ではないのか。社会教育の中で真剣に取り組まなければならない、大きな問題と考えるが、所見を伺う。</p>	
4	21	藤原信宏 (一問一答)	1. 子ども・子育て支援新制度について	<p>(1)市の幼児教育・保育行政は、今後新制度により、全保育所を段階的に総合施設化していく方向が基本であると理解してよいか。</p> <p>(2)策定される計画は、正に子育て支援の総合計画であり、「雲南市子ども・子育て会議」の責任は重いと感ずる。受け持つ役割や審議内容について伺う。</p> <p>(3)幼児教育・保育ニーズの大要は明白だ。まずはサービスの均衡を図るために、市全体或いは区域ごとに明確な施設適正配置の基本方針、全体像を定めて、その計画・整備に向かうべきと考えるがどうか。(子ども園移行、既存の幼稚園、保育所の充実等)</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 病気予防対策について	<p>(4)関係部局が連携して多くの施行準備事務を実施することから、体制強化が必要になる。この際、0～15歳の保育・教育に関する担当部局を一本化して、子育て支援の充実強化を図ってはどうか。</p> <p>(5)地域型保育事業の実施主体は民間施設であり、市は責任を負わない。進める考えか、方針を伺う。</p> <p>(6)保護者の負担増は避けられないと懸念する。保育料負担はどうか。</p> <p>(1)住民検診の受診率が低く、これでは癌発見率も上がらず、早期発見は困難である。受診率向上のため、特定検診の審査項目を基本に、希望するオプション、がん検診等を組み合わせて、できるだけ1日で検査項目全てを受診できるようなプログラム化はできないか。</p> <p>(2)胃がんリスク検診の実施と普及啓発について</p> <p>①胃がん発症の危険度を分析するABC検診は、感染者に除菌や精密検査を薦めて、胃がんの予防と早期発見に寄与する優れた方法である。住民検診に取り入れる考えはないか。</p> <p>②人間ドック等に取り入れ市民に推奨することは、すぐにもできる。普及・啓発についての所見を伺う。</p>	
			3. 一般質問の提案に係る実施施策の報告と開示について	<p>(1)一般質問の提案施策が、言いつ放し、答えっ放しで、研究・深化の経過や結論の報告が放置されている状況にある。質問の総括部局・各担当部局において質問事項を如何に管理し、検討しているか。異なる議員が異なる時期に、同趣旨の質問をした場合、先に行った質問・答弁も施策形成に反映されているか。</p> <p>(2)一例として、数度提案した下熊谷・森ノ本新田地区の地区計画（道路計画）の策定と、その主軸となる国道54号から下熊谷3号線を経由して三刀屋川堤防に繋がり、将来は架橋して主要地方道出雲三刀屋線の短縮経路とする幹線道路の計画について、どの様に質問を管理し、検討深度は如何</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>程か何う。</p> <p>(3)検討するとして議員提案施策の検討状況の報告、並びに結果として実施に至った施策の検討経緯の説明が、全議員を対象にして、節目の然るべき時期（施策形成時の早期）に、あって良いと考えるがどうか。</p>	
5	4	矢 壁 正 弘 (一 括)	<p>1. 山林及び農地の 放棄地の状況につ いて</p> <p>2. 河川の維持管理 について</p>	<p>(1)雲南市の山林及び農地のうち、持ち主が転居・死去等で放置されている土地の状況について</p> <p>①雲南市の山林面積は、全体面積の8割を占めている。そのうち、相続等の処理がなされておらず、持ち主不在のまま放置状態となっている山林・農地の面積はいくらあるのか何う。</p> <p>②放置しておけば山林及び隣接する農地の荒廃が進み、鳥獣被害も多くなると思うが、市は、放置状態の解消をどのように考えているのか。</p> <p>(2)山林・農地の持ち主の中には、高齢で管理が難しい方や、金銭面で外注も出来ず、市に土地を寄贈したいと思っている方がいる。</p> <p>①市として、山林・農地等の寄贈に応じる考えはあるのか、何う。</p> <p>②応じる場合、窓口となる所管はどこなのか何う。</p> <p>(1)雲南市内の河川管理について</p> <p>①7・8月の島根県西部の集中豪雨で、津和野、益田、浜田、江津の各河川が甚大な被害を受けた。雲南市においても、何時このような災害が起こるのかわからない。近年、河床の堆積土の浚渫工事が行われていない様で、少雨でも増水する恐れがある。また、河床が高くなり、農地への取水が困難になったとの意見も聞いている。市としてどう取り組むのか何う。</p> <p>②国・県が管理する河川の、国・県による点検、パトロールがどのように行われ、点検結果が通知されるのか。また、市からの国・県への要請はどのように行われるのか何う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 空き家バンクの 利活用の拡充につ いて	(1)空き家バンク制度の維持拡充について ①現在、色々な方法で空き家の獲得に努力されているが、良い物件がなかなか見つからないと聞いている。今後の対策について伺う。 ②空き家バンクの制度が市民に広く周知されていないように思うが(特に若い世代)、見解を伺う。 ③この制度は、空き家対策にも定住対策においても大変有意義な制度だと思う。これからの拡充について考えを伺う。	
			4. 大東町公共下水 道区域の拡張およ び合併浄化槽耐用 年数について	(1)大東町公共下水道整備区域は、雲南市合併前からの工事であり、大東町連坦地及び春殖地区の一部の狭い範囲で整備が行われて来たが、後数年で完了する。 整備が行われていない赤川より北側には、市営住宅(グランデ)、市立大東小学校、県立大東高等学校と公共施設や教育施設がある。現在、合併浄化槽で対応しているが、民家も多く、宅地化が進む地域である。この地域を整備区域とする考えはないか伺う。 (2)今後耐用年数を迎える合併浄化槽の取り扱いについて ①現在、合併浄化槽の管理は雲南市が行っている。合併浄化槽の平均的な耐用年数は30年だと聞いているが、耐用年数が過ぎ、破損等起きた場合の設置替え等の対応について、どのように考えているか伺う。 ②合併浄化槽設置においては、150基以上設置した年度があり、同時期に耐用年数が経過することになる。更新時期の集中に対し、どのような対応を取るのか。前もって下水道等の整備をする考えがあるのか伺う。	
6	3	原 祐 二 (一問一答)	1. 高齢者福祉の充 実について	(1)雲南市総合保健福祉計画の前期2年間(23年度～24年度)について ①高齢者が自らの経験を生かし、無理せず楽しみながら活躍できる場づくり、地域づくりの取り組み状況と中間評価について伺う。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>②高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らせるように、公共交通等の利便性を高める等、高齢者サービスの充実を図る取り組み状況と中間評価について伺う。</p> <p>③雲南市総合保健福祉計画における高齢者福祉充実の成果指標の現状について伺う。</p> <p>④市民ニーズ、地域特性について、どのように把握しているのか伺う。</p> <p>(2)高齢者福祉サービスについて</p> <p>①高齢者福祉サービスの市民への周知方法について伺う。</p> <p>②緊急通報サービス事業の月額助成は、高齢者ほかの対象者約1,900人に対し、サービス月額費用の助成者は約220人となっている。助成には収入要件もあるが、助成対象者数と利用率について伺う。</p> <p>③サービス提供業者の登録は5社である。契約は全て㈱セーフティネットワークとなっているのは何故かを伺う。</p> <p>④今後、緊急通報サービスを普及する考えがあるのか伺う。</p> <p>⑤高齢者等タクシー利用料金助成事業は、対象者約8,670人に対し、利用者実数は約150人で約2パーセント。購入者数は、250人で3パーセントと利用者数が極端に少ない。事業のあり方について伺う。</p> <p>(3)買い物支援サービスについて</p> <p>①移動販売者が高齢者社会で果たしている役割についての見識を伺う。</p> <p>②市内での移動販売事業者数の推移について伺う。</p> <p>③移動販売車導入に対する補助メニューと要件について伺う。</p> <p>④高齢者福祉サービスとして、販売車への維持管理費についての支援策を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 子育て支援について	(1)小学校の放課後対策の現状について伺う。 (2)小学校の放課後対策としては、放課後児童クラブの充実が重要と考えるが、小学校区によりサービスの内容が異なっている。今後、ニーズにあわせた公平な子育て支援策（開所時間等）の充実が必要と考えるが所見を伺う。	
7	1	松 林 孝 之 (一問一答)	1. 学校教育について	(1)全国学力・学習状況調査について 島根県は都道府県別の結果で、小学生が 44 位、中学生が 24 位であった。文部科学省より学校別の公表は禁じられているが、雲南市全体の小中学校の結果はどうであったか。市として結果をどう判断し、今後どのように対応していくのか。 (2)学校図書予算について ①文部科学省において、平成 24 年度から学校図書館図書標準の達成を目指すための「新学校図書館図書整備 5 カ年計画」により、単年度 200 億円の予算措置があった。一般地方財源での配分で、予算配分は各市町村に委ねられている。雲南市内の各小中学校への図書費配分は適当か。 ②各幼小中への備品費・教材費・図書費等を十分に当初予算で示すことで、各施設の現状に合った計画的な備品や教材・図書等の整備が整うと考えるが、所見を伺う。 (3)施設整備について ①今年の夏の猛暑は異常なほどである。保育所・幼稚園・小学校・中学校や放課後児童クラブの各教室への、扇風機やエアコンの整備状況は。 ②今後、整備する考えはあるか。ある場合、計画は策定されているのか。 ③校舎や園舎といった施設の修繕や整備は、当然公費で行うわけだが、備品の購入や整備は、PTA 会費や後援会、教育振興会等の私費	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 市政運営について	<p>による整備が行われている。学校教育法には「学校設置者が学校経費を負担する」と定められているが、現状をどう認識しているか。</p> <p>④2014年4月9日をもってマイクロソフト WindowsXP と Office2003 のサポートが終了するが、各施設に配備されているパソコンの対応状況は。(生徒・児童使用のもの、教員・事務処理用のものについて。)</p> <p>(1)第2次総合計画策定に係る市民意識調査アンケートについて</p> <p>①無作為抽出により 1000 人の市民へ配布された。8 つの世代別に分かれているが、配布率は均等か。</p> <p>②全体の回収率が 39.3%であった。この数字をどう捉えているのか。</p> <p>③「合併してよかったか」という問いに、居住地別のデータでは大きく割れている。「とてもよかった」という答えは、吉田町が最大で 13.3%、加茂町が最小で 0.0%、「まあまあ良かった」も合わせると、木次町が 40.5%で最大であり、最小は加茂町の 21.8%である。この評価の差は、とても大きいと考える。どこに原因があると捉えているのか。</p> <p>④「今後力を入れて取り組むべきことは」という問いは、世代別統計を総合計画策定には十分配慮すべきと考えるが、加えて地域別の統計もしっかり分析することで、居住地別評価の均衡も図られる。「ずっと住み続けたい、住みよい雲南市」にするために、これらのデータは重要と考えるが、所見を伺う。</p>	
8	5	白 築 俊 幸 (一問一答)	1. 県から市への権限移譲について	<p>(1)H12.4 に施行された「地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律」に基づき、以後逐次、県から市に権限の移譲が進められてきたところであるが、雲南市は、これまでどういう考え方の下に取り組んできたのか伺う。</p> <p>(2)既に移譲を受けたものがある一方で、まだ受けていないものがあると思う。それぞれに、主なものはどういうものがあるのか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 観光地の整備について	<p>(3)移譲に伴う市のメリットとデメリットは何か伺う。</p> <p>(4)移譲を受けた場合、市民にとって何がメリットなのか。</p> <p>(5)農地転用に係る事務と保安林内の立木伐採等の許可については、今後どう対応していくのか。</p> <p>(1)松江道の開通効果以前に、雲南市への観光客の入り込みは増えつつある。こうした中で、市内の観光施設の不備な状況をどう把握し、どう対応しようとしているのか伺う。</p> <p>(2)山陽側を中心とした入り込み客は、松江・出雲が主目的であると思われる。雲南市はそのついでに、ということでもやむを得ないと思うが、具体的にどの様な施策展開を図っていくのか。</p> <p>(3)龍頭が滝については、2年前のJRのキャンペーンポスターに載って以降、入り込み客が徐々に増え、今年の盆の夏祭りは大変な盛況であった。しかし、駐車場不足により、車の行き違いでケンカも起こるなど、これも大変な状況であった。また、トイレが駐車場付近にないため、近隣の3戸の民家に借りに来られている。現在のところ、対応してもらっているが、借りる方も貸す方もお互いにやりにくい状況にある。駐車場とトイレについては、早急な対応が必要となっているが、どう対応していくのか伺う。</p>	
9	11	西村雄一郎 (一括)	1. いきいきサロンの一層の推進について	<p>(1)いきいきサロンは好評。年々増加している。その理由はどこにあるか。</p> <p>(2)いきいきサロンの効果はどこにあるのか。</p> <p>(3)いきいきサロンの効果的な運営のためには、研修が必要ではないか。</p> <p>(4)いきいきサロンの運営者自体が、高齢者であってもいいのではないか。</p> <p>(5)おしゃべりだけでない、男性向けのいきいきサロンを推進したらどうか。</p> <p>(6)いきいきサロンの場に保健福祉の専門職を派遣し、地域の姿を知り、「うつ」等の患者を発見するようにしたらどうか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 雲南市まちづくり 基本条例について	<p>(7)有用ないきいきサロンの助成金が、1団体年間10,000円から8,000円に減額され、憤りの声が多く出ている。介護・認知症予防の観点から、雲南市として予算を見直すべきと考えるがどうか。</p> <p>(8)助成金を茶葉に使用してはならない基準をゆるめたらどうか。</p> <p>(1)議会の役割と責務について 議会の役割に「行政の監視および牽制する」との文言を追加すべきと考えるがどうか。</p> <p>(2)行政の役割と責務について 市長の役割は「計画的かつ効率的な行政運営に取り組み」とされているが、それだけで良いのか。</p>	
10	17	堀 江 眞 (一問一答)	1. エコ農業について	<p>(1)エコ農業をどのように評価されているのか。</p> <p>(2)エコファーマーの皆さんが徐々に減ってきている。要因は何か。事業評価では拡大を目指すところがあるが、具体策を伺う。</p> <p>(3)雲南市の「特別栽培米奥出雲千石米コシヒカリ」について稲作栽培暦に掲げられている。農薬使用基準で要件に掲げられた種もみは、無消毒種もみを温湯消毒または微生物農薬を紛衣する・・となっている。エコファーマーが減少あるいは増加しない一因ではないかと思うがいかがか。</p> <p>(4)現在、エコ農家個々や他町への委託で温湯消毒をされているが、大規模農家の要望には委託先も対応できないと聞く。安全安心が求められる中、全国的にもエコ米が通常化してくることが予測される。種もみの優良主要産地として、雲南市が率先して種もみを全量温湯消毒して出荷できる本格的施設を作るべきと思うが、考えを伺う。</p> <p>(5)雲南市産エコ米の安全性を広くアピールし、エコ農家の拡大につなげ、ひいては雲南エコ米のブランド化に貢献すると思うが、見解を伺う。</p> <p>(6)本格的施設は現在どこで行われているのか。先駆けてやることに意義が</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 上山農用地について	<p>あると思うが、見解を重ねて聞く。環境面でも、廃液の減少につながり効果は大きいのでは。</p> <p>(1)上山農用地は、平成24年度(今年の2月)で償還を終えた。昭和50年計画から昭和60年完成まで10年。7年据え置き18年償還。途中平準化事業を取り入れ今日まで延長されて、着工から35年。完成から28年で償還が終わった。</p> <p>土地さえあれば・・・の思いからスタートしたが、農業事情も当時から一変している。後継者も少ない現状で再び山に帰るのではないかと危惧する。</p> <p>①改めて開発地の再活用策を検討していただく考えはないか。</p> <p>②放牧場に活用していただいているが、繁殖センターの今後の見通しを併せて伺う。</p> <p>③高齢化し後継者もない人からは、土地の買い上げも要請されている。広い日本にはいろいろな考えを持つ方もあると思う。入植者を全国的公募するなど、検討していただきたい。考えを伺う。</p>	
			3. 有害鳥獣被害について	<p>(1)今年は特にあちこちからイノシシ被害を聞く。鹿を見かけたという人もある。全市的にどのような被害状況か。現状を伺う。</p> <p>(2)今後の対策を伺う。(猟友会の後継者対策支援等)</p> <p>(3)近隣の飯南町、美郷町などは、イノシシを活用して地域おこしにつなげている。改めて雲南市でも、鳥獣被害対策の一環として前面に出して取り組むべきではないか。(ジビエ料理販売など)</p>	
11	16	山崎正幸 (一問一答)	1. 行財政運営について	<p>(1)地方交付税算定制度の見直しに向けた取り組み状況を伺う。</p> <p>(2)現行制度で実行された場合に市に与える影響を伺う。</p> <p>(3)総合計画にどのように反映されるのか伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 産業振興について	<p>(1)農業について</p> <p>①本市の農業の現状と主な課題は何か伺う。</p> <p>②今年の水稲作況状況を伺う。</p> <p>③米価は昨年に比べ大幅に下落したが、その要因は何か伺う。また、震災前の価格と比較するとどうか。これが適正の価格と判断しているのか伺う。</p> <p>④この状況では個人での経営は厳しく生産意欲は減退すると考える。このような状況の中で担い手が重要な役割を担うと思うが、支援策を伺う。</p> <p>⑤担い手対策が遅れ米価の下落が続くようであれば、生産意欲が減退し農地の荒廃が進むと考える。その対策はあるか伺う。また、たたらば壺番地ではそばの評判が良いと伺っている。そばの作付を推進することが荒廃地の防止と雲南市のPRに好影響を与えると思うが考えを伺う。</p> <p>⑥平成24年から吉田町宇山の米が台湾に輸出されて、平成24年産米は完売したと伺っている。どのような効果があったのか伺う。</p> <p>⑦7月に台湾で雲南市フェアを出店したが、手ごたえはどうだったのか。何か1品でも取引につながる商談ができたのか伺う。</p> <p>(2)観光について</p> <p>①松江自動車道の道の駅「たたらば壺番地」と「たかの」の利用状況を伺う。</p> <p>②道の駅で台湾フェアを行い、県外の観光客にPRを行い販売促進につなげる等の取り組みも可能と思うが考えを伺う。</p> <p>③「たたらば壺番地」を拠点とした雲南市が目指す観光の現状と今後の振興策を伺う。また、魅力ある「たたらば壺番地」を目指す観点から、冬季の対策を伺う。</p> <p>④市内の主要観光地で携帯電話が通じない場所があると聞いたが、現状はどうか伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 地域福祉づくり について	(1)民生委員・児童委員の改選に伴い、各町各地域で選出に向け難航されたと伺っている。その原因は何か伺う。 (2)今後の地域福祉づくりの体制整備の考え方を伺う。	
			4. 公共事業について	(1)小規模修繕事業の現状と結果を伺う。 (2)建設資材や油等が高騰し、事業者は利益が生まれないと伺っている。入札にどのように反映させるのか伺う。 (3)大型事業への市内事業所の参入の考え方を伺う。	
12	6	多賀三雄 (一問一答)	1. 教育委員会の学校 への関わりについて	(1)松江市での出来事は、教育委員会事務局が委員会会議に諮るか報告しなかったという単なる手続きの問題ではなく、教育委員会が、一「市民」の不当な要請に屈したこと、教育委員会が、学校の教育内容・図書に介入したこと、教育委員会の要請に無批判に従う学校の体質に問題があると思うが、 ①雲南市では、上記のようなことはなかったか。 ②雲南市教育委員会は学校への指導や要請について、学校の自主性を尊重し、十分に現場の意見を聞き協議をして行き、教育内容や図書館への不当な介入にならないようにすべきと考えるが、どうか。	
			2. 原発・エネルギー 問題について	(1)原発の危険性について 福島現状をみて、福島原発事故は収束したと考えているか。非常事態が続いていると認識しているか。原発は、生活と相いれないもの と考える。事故が絶対起きないといえるか。 (2)エネルギー政策・施策について ①市長は「原発に頼らないことをめざすが、即時ゼロとはいかない」と発言している。現に原発ゼロでもやっていけているのに、即時ゼロに踏み切れないのはなぜか。経済性、安定性、政治的・経済的しがらみが原因か。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 地元商工業の振興 について	<p>②原発と再生可能エネルギー、どちらが雲南省の地域経済にとって良いと考えるか。</p> <p>(1)地元商工業の現状をどう見ているか。 (2)市の商工業政策について</p> <p>①市会計に占める商工業予算の比率の推移はどうなってきたか。 ②中長期的な施策と緊急の支援が必要と思うが、どうか。 ③住宅リフォーム助成制度の利用状況はどうか。適用対象を広げるべきではないか。 ④中小企業振興基本条例の制定は、もっと地元商工業者との協議を通して取り組むことが大切と思うが、どうか。 ⑤中心市街地活性化法の活用について、どう考えるか。</p>	
			4. 国民健康保険料に ついて	<p>(1)国保料の金額は多数の市民にとって高すぎないか。 (2)短期証・資格証による受診抑制等の影響をどう考えるか。 (3)差押えについて</p> <p>①年金等支給日の差押えをまだ継続しているのか。 ②生活に必要な最低限の預金は残すというが、その金額はいくらか。</p>	
			5. 子育て支援につい て	<p>(1)放課後児童クラブの必要性は高い。新設が必要と考える。老朽化施設は改築や新設すべきであるが、計画はあるか。</p>	
13	15	細 田 実 (一問一答)	1. 原子力防災対策 について	<p>(1)島根県原子力防災連絡会議に雲南省も加わるなど原子力災害に対する広域的な取り組みが具体化されつつある。取り組みを問う。 ①中国電力は島根原発再稼働へ向けての取り組みを進めたい意向である。そうした中、松江市周辺3市での安全協定締結など取り組みの状況を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 地場産業の育成 と公共工事について	<p>②今秋、県は原子力防災訓練実施の発表を行ったが、訓練内容と雲南市の取り組みを伺う。</p> <p>(1)産業建設常任委員会で市内団体との意見交換を行ってきた。小規模事業者、地元産業育成への要望は多い。小規模事業者育成の事業など工夫されているが、一方、市庁舎、市立病院建設など大型事業への地元事業者参入への関心も強い。</p> <p>①市庁舎、市立病院建設での地元事業者活用育成・参入はどのように考えているのか。</p> <p>②6月定例会一般質問で行った公共工事での労務単価適正化については取り組まれているか。</p>	
14	8	佐藤隆司 (一問一答)	<p>1. 広報広聴について</p> <p>2. 合併10周年記念事業について</p> <p>3. 消防防災について</p>	<p>(1)市政懇談会の今年度の実施方法と内容について</p> <p>①市政懇談会の開催会場の選定の考え方と、主要課題を「産業振興」と「子育て支援」の2つとされた意図は何か。</p> <p>②懇談会を終えられた所感は。</p> <p>③新庁舎や市立病院の大きな建設プロジェクトを市民に示す絶好の機会であったと思うがどうか。</p> <p>(1)現在の進捗状況について</p> <p>①記念事業のメインとなる事業はどのようなことを想定されているのか。</p> <p>②市として一番のセールスポイントと集客力を生かし、広く市内外へアピールできる（例えば春の桜まつりなど）事業を記念事業とすべきと思うがどうか。</p> <p>(1)防火施設の整備について</p> <p>①住宅地の防火施設（消火栓、防火水槽）設置の整備の基準（考え方）</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>はあるか。また今後の整備方針は。</p> <p>②住宅地以外（事業所集積地）の防火施設設置の整備の基準（考え方）はあるか。また今後の整備方針は。</p> <p>③地域からの要望等の取扱いをどのようにしていたか。また、今後の需要をどう把握しているか。</p> <p>④今後設置が必要な箇所への普及を推進するための指導の考えはあるか。また今後の設置計画及び方針は。</p> <p>(2)消防施設について</p> <p>①6町の消防団の車庫及び待機施設は、設置の有無及び設置方法に格差がある。現状はどうか。</p> <p>②今後の格差是正の方針は。</p> <p>③将来望まれる消防団の組織体制（将来避け通れない分団及び部の統廃合）の市の方針は。</p> <p>④「公の施設改革推進方針」に基づく、公の施設の見直しとの整合性がとれているのか伺う。</p>	
15	9	周藤正志 (一問一答)	<p>1. 学校図書館について</p> <p>2. 健康づくり、健康増進施策について</p>	<p>(1)こどもの言語力、コミュニケーション能力が不足している中で、学校図書館を充実、強化させていくことも必要である。</p> <p>①図書購入費を増やすべきではないか。</p> <p>②ボランティアでない学校司書は25小中学校のうち3校のみである。配置を増やし、待遇も改善すべきだ。</p> <p>(1)誰しも健康が第一で医療や福祉施策の前提であることから、検診はもとより、市民への啓発に力を入れ、健康づくり、健康増進施策にしっかり取り組まねばならない。</p> <p>①国保加入者は人間ドックに受診枠があることから、受けたくても受けられない人が出ている。希望者は受診できるようにすべきだ。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. 不登校対策について</p> <p>4. 第2次総合計画策定における基本構想について</p>	<p>②検診など、不採算であっても、市立病院は自治体病院としての使命・責任を果たさねばならない。市や身体教育医学研究所うんなんと一体となって予防活動はもとより、健康づくり、健康増進の拠点にしていくべきではないか。</p> <p>(1)雲南市は、全国的に見ても不登校が多く、これまで以上の対策強化が必要だ。基本的な考えや強化策を策定し、実施すべきだ。</p> <p>①不登校の実態と現在の取り組み状況はどうか。</p> <p>②取り組みの課題や問題点は何か。</p> <p>③今後の不登校対策の基本的な考えと、どう対策を強化していくのか伺う。</p> <p>④不登校を出さない取り組みも必要だがどうしていくのか。</p> <p>(1)市の長期的ビジョンで目指すべきまちづくりの方向性を示す基本構想（H27～36）が検討協議されている。基本的な考えやその考えの根幹にある『魂』を質す。</p> <p>①これからのまちづくりの重要課題は何であると考えているか。</p> <p>②基本理念をどう考えているか。現在の基本理念は、生命と神話が息づく新しい日本ふるさとづくりであるが、今後はどう考えているか。</p> <p>③人口減少（H36に約3万5千人）と少子高齢化が進み、地域経済も停滞・縮小がまぬがれない中であって、目指すべきまちの姿、将来像をどう考えているか。</p>	
16	14	福島光浩 (一問一答)	1. 人口減少時代をみすえた行政経営について	<p>(1)第二次雲南市総合計画策定に関して</p> <p>①人口減少を前提とし、縮小する社会、地域をみすえた行政経営が求められる。第二次総合計画において、それらをより一層意識し将来像を描きながら総合的な指針を示す必要があると考えるがどうか。</p> <p>②ファシリティマネジメントの導入について提言してきたが、道路下水道</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 超高齢化社会における保険・医療・介護について	<p>などのインフラも含めたアセットマネジメントに取り組み、市民にわかりやすく判断・評価材料を示したうえで、総合計画を進行する必要があると考えるがどうか。</p> <p>③これからの自治体経営になくてはならない、切っても切り離せない柱となる計画の一つが情報化計画であると考え。情報化計画は行財政改革と連動するものであり、各事業推進を左右する。総合計画の成果に直結する重要な計画であるとの認識で策定を求めてきた。改めて、認識を問う。</p> <p>(2) 時代をみすえた行政サービスの展開について</p> <p>職員数が削減されるなかで庁舎建設が行われ、機能再編に取り組みようとしている。どのようにして行政サービスの充実をはかっていくのか。検討状況について問う。</p> <p>(1)終末期医療と介護について</p> <p>①厚生労働省をはじめ各種機関が終末期医療に関するガイドラインを発表している。県内医療機関の動向と終末期指針活用のスタンスと現状について問う。</p> <p>②市民に対して、考える機会を提供し、啓発していく必要がある。現状と今後の取り組みについて問う。</p> <p>③日本老年医学会が高齢者ケアの意思決定プロセスに関するガイドラインを策定した。ガイドラインの公表を受け、現場ではどのように対応されているのか。</p> <p>④事前要望書普及に対する見解とガイドラインへの評価及び今後市における取り組みについて問う。</p> <p>(2)緩和ケア体制の構築について</p> <p>①島根県では県保健医療計画において、在宅での緩和ケア推進のためのネットワーク会議の開催、研修会の実施、普及啓発などが計画されている。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>市としての取り組み、現状について問う。</p> <p>②雲南圏域では、緩和ケア病棟を有する医療機関はないと認識しているが、特にがん死亡者が増加する今日、病院や地域医療における緩和ケアの重要性は高まっている。地域医療における緩和ケアのあり方について、所見とともに、方針、取り組みについて問う。</p>	